

◆200Q

★

赤福は、伊勢の名物だ。その原料のもち米は、熊本県の八代地域からも供給されており、その生産の中心地は氷川町である。赤福は、買ったその日のうちに食べてしまうべきだ。でないとなりの日には硬くなってしまふ。・・・以前は、そんな食べ物だったが、今の赤福は次の日も結構やわらかい（らしい）。・・・馴染んできた常識に照らし、なにかが違ふと気付いたとき、そこには知らない世界が隠れている、と思わねばならない。私たちは、そのことを学習した。

☆☆

サンゴ（突然始まる物語の主人公の名）は、夜のテレビニュースを見ている。元絶叫系アナのキャスターが、キャラを押し殺し、私見を交えながら冷静な（昔の、翌朝の赤福のような硬さの）口調で政局を伝えている。菅首相を擁する旧民主、小沢代表の率いるパラ民主、谷垣さんを担いだ自民の3疑似連立政権が、矢継ぎ早に施策を実施しているという内容だ。この政権は疑似連立である。政権党はあくまで旧民主、他の2党から閣僚は出さない。しかし3党は、都合よく協働し、採り得る3つの組み合わせ（旧民主+パラ民主、旧民主+自民、自民+パラ民主）により、多数決で、自党が進めたい政策をお互い全部で実現できるシステムを手に入れていた。・・・新しいような、究極には以前と何も変わらないような、そんなシステム。

☆☆☆

この国は、なにかおかしいことになっている、と思う。サンゴは、ベランダに出て夜空の月を凝視した。月は3つほど見える。実は、昨年の夏あたりから、サンゴの空には月は3つある。

サンゴは思う。2009年の夏に、この国に何か起きた。もしかすると、自分がパラレルワールドに迷い込んだのかもしれない。もしそうであれば、その年を、自分が知っているはずの2009年と区別しなければならない。サンゴは、その年を200Q年と呼び、2009年の夏がいかなるものであったか思い出そうとする。しかし、過去の一時期の記憶が、すっかり抜け落ちてきていることに気づく。・・・何者かに盗みとられたように。10歳で抜けた乳歯をどう処理したか覚えていないように。

☆☆☆☆

政治家たちにも、夜空の月が3つほど見えている。その多くは老眼で、少なからず乱視が入っている。政治家自体を凝視すれば、やはり、少なくとも二重の残像が見えるはずだ。

海外旅行の土産物のお菓子は、かなりの確率で賞味期限切れだから気をつけろ。

「ほうほう」と、はやし役のジャパニーズ・ピープルが声を出す。

200Q年夏の失われた記憶・・・その頃の首相は誰だったか？

「ほうほう」と、残りのジャパニーズ・ピープルがはやしたてる。

まだ地デジ化していないサンゴのテレビは、画面の下に「アナログ放送は2011年7月で終了します」という帯がしつこく出る。おかげで、肝心の番組の画面の大きさが犠牲になる。サンゴがベランダにいる間、画面の下には次のような帯が映し出されていた。

お知らせ 全国まちづくり会議 in 熊本が、10月9日、10日にあります。

姜尚中先生の講演会もあります。場所は、崇城大学市民ホール（熊本市民会館）。

<http://sites.google.com/site/zenmachi2010/home> でチェック！！